



国内女子ツアー第2戦「ヨコハマタイガゴルフトーナメントPRGRレディスカップ」にてPING契約 鈴木愛プロが優勝を飾りました。「シーズンオフ中は、PINGフィッティングでクラブを調整と練習をしっかりと行いました。特にアプローチやバンカー練習を強化したところ、最終日の17番でのバンカープレーでは、自信をもってプレーできました。」と鈴木選手。この試合で通算10勝目となった鈴木選手「地元四国での大会はなかなか優勝に手が届かず、気合を入れて試合に臨みました。先週の予選落ちもあり、気持ちも少し沈んでいましたが、地元の応援者がたくさん見に来てくれて、声援が私のプレーを後押ししてくれました。まだツアーは始まったばかりですが、次の勝利に向かって頑張りますので、みなさんの応援をよろしくお願いいたします。」とコメントしています。また今年からツアー参戦するPING契約の渋野日向子選手は、やわらかな打感と音が特徴の「SIGMA2」パターを使用し、平均パット数1位(3月18日現在)となっています。今後の活躍にもご期待ください。

鈴木愛選手	優勝クラブセッティング
ドライバー	G410 PLUS (10.5度)(ロフト:-1度、ウェイト:STD)
FW	G410 (#3/#5)
ハイブリッド	G400 (22度/26度)
アイアン	i210 (#6~#9, PW)
ウェッジ	GLIDE 2.0 (50度SS/54度SS/58度SS)
パター	VAULT ANSER 2

渋野日向子選手	クラブセッティング
ドライバー	G410 PLUS (10.5度)(ウェイト:STD)
FW	G410 (#3/#5)
ハイブリッド	G410 (19度/22度)
アイアン	i210 (#5~#9, PW)
ウェッジ	GLIDE FORGED (52度/58度)
パター	SIGMA 2 ANSER (プラチナム仕上げ)

G410シリーズ国内2連勝! 3/21発売前の優勝クラブに大注目

鈴木選手も今季の試合前にG410PLUSドライバー&FWを投入。
鈴木プロとツアー担当に投入したポイントを語ってもらいました。



G410 PLUSドライバー

鈴木プロは10.5度のヘッドをロフトを-1度に調整。
スタンダードのウェイトポジションで見事優勝しました。



一番の決め手は、直進性が高くなったことです。試合では、強風吹き荒れる中でのティーショットが多かったですが、G410PLUSドライバーは、ミスヒットでもブレずに飛ばせて、左右からの風にも負けず曲がりません。だから自信を持って攻めることができました。

【ツアー担当コメント】

昨年終盤から使用していたG400 LSTより直進性が高く、左右の曲がりを気にすることなく安心して振り抜いているG410PLUSドライバー。オフ中にシャフトもテストしましたが、高打ち出し・適切なスピニング量で再現性が高い、純正シャフトのALTA JCB RED (S) が一番ベストでパフォーマンスが出ます。

G410 フェアウェイウッド

鈴木プロは3番と5番をセッティングに入れています。
最もボールにコパワーが伝わる理想的な重心設計の効果が抜群!



一番気に入っているポイントは、何といてもボールが上がりやすくなったことです。G410ドライバーと一緒にどにかく曲がりがなくて、まっすぐ飛びます!

【ツアー担当コメント】

スコアを作るには、距離が出るだけでなく、狙える高さが必要です。G410FWは、打ち出しが高くなり、そして距離もしっかり出ている理想的なFWの弾道が実現できています。また、ボールを拾いやすいのもポイントです。

